

## 1. アブラハムの息子イサクの子供たち

創世記 25:27 この子どもたちが成長したとき、エサウは巧みな猟師、野の人となり、ヤコブは穏やかな人となり、天幕に住んでいた。28 イサクはエサウを愛していた。それは彼が猟の獲物を好んでいたからである。リベカはヤコブを愛していた。:29 さて、ヤコブが煮物を煮ているとき、**エサウが飢え疲れて野から帰って来た**。30 エサウはヤコブに言った。「どうか、その赤いのを、その赤い物を私に食べさせてくれ。**私は飢え疲れているのだから**。」それゆえ、彼の名はエドムと呼ばれた。:31 するとヤコブは、「今すぐ、あなたの長子の権利を私に売りなさい。」と言った。32 エサウは、「見てくれ。**死にそうなのだ。長子の権利など、今の私に何になろう**。」と言った。33 それでヤコブは、「まず、私に誓いなさい。」と言ったので、エサウはヤコブに誓った。こうして**彼の長子の権利をヤコブに売った**。:34 ヤコブはエサウにパンとレンズ豆の煮物を与えたので、エサウは食べたり、飲んだりして、立ち去った。こうして**エサウは長子の権利を軽蔑したのである**。

## 2. アブラハムは神と呼ばれ、祝福を約束された

創世記 12:1 その後、主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。2 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

## 3. アブラハムの信仰

- a) 神様を信じて、神様に従い、100歳でイサクを授かる
- b) 神様の契約は、アブラハムの子孫とともにあった。

## 4. イサクから、双子が生まれる：エサウ【兄】とヤコブ【弟】

- a) エサウは巧みな野の漁師となった  
イサクはエサウの獲物を好み、エサウを愛した
- b) ヤコブは穏やかな人となり、天幕に住んだ  
ヤコブは、母に愛された

## 5. エサウが長子の権利を軽蔑する

- a) エサウは野の狩りから帰って来る。狩りに没頭してとても疲れて、空腹状態だった
- b) エサウはヤコブが煮ていた煮物を求めた
- c) ヤコブは、エサウに長子の権利を引き換え条件にする
- d) エサウは、「見てくれ。**死にそうなのだ。長子の権利など、今の私に何になろう**。」

- ➔ エサウが求めていたもの
- この世の仕事【狩り】
- この世的に父親を喜ばせる事【野の獲物によって】
- 将来受けるアブラハムの祝福ではなくて、霊的なものではなくて、肉的なもの、「今」の空腹と疲れを満たすこと、食べ物や飲み物によって

e) エサウは長子の権利を弟に売った

- こうして**彼の長子の権利をヤコブに売った。**
- こうして**エサウは長子の権利を軽蔑したのである。**
- ヘブル書では、エサウを俗悪な者として紹介されています。

ヘブル 12:16 また、不品行の者や、がないようにしなさい。17 あなたがたが知っているとおり、彼は後になって祝福を相続したいと思ったが、退けられました。涙を流して求めても、彼には心を変えてもらう余地がありませんでした。

長子の権利とは、父から受け継ぐ2倍の相続財産であるだけでなく、神からの祝福の約束です。長子の権利は、先祖アブラハムに与えられた神からの約束を受け継ぐということです。その神の約束とは、神の大いなる国民となって世界を祝福することです（創世記 12:2-3、

- ➔ 肉欲と神様のことを引き換えていませんか？
- ➔ 礼拝や特別集会と同じ日にあなたはどちらを選択していますか。礼拝の日は一日主の日です  
友達のパーティと礼拝や集会；仕事と礼拝や特別集会；旅行と礼拝、朝寝と日曜学校

#### 6. 揺り動かされない御国を受けている

ヘブル 12:28 こういうわけで、私たちは揺り動かされない御国を受けているのですから、感謝しようではありませんか。こうして私たちは、慎みと恐れとをもって、神に喜ばれるように奉仕をすることができるのです。29 私たちの神は焼き尽くす火です。

- 御国の相続者である
- イエス様の十字架の救いを感謝しましょう
- 神様に喜ばれるように歩んでいきましょう。  
奉仕をしていきましょう
- イエス様によって救われていない人々は神様の  
刑罰を受けることを覚えて伝道しましょう

#### 天の御国に近づいている

無数の天使の大祝会  
キリストを信じる人々  
家族、友人、知人  
父なる神様  
旧約新約聖書の信仰者  
イエス様

- ➔ 御国を待ち望む人生
- ➔ 御国に近づいていることを覚えましょう

毎日どのように過ごしていくべきでしょうか。

【コロサイ 3:2 あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。】

1. 御国を思う、霊的なものを追い求めましょう、祈り、聖霊の満たし、霊的賜物、御言葉の知識
  - 神様は信じる者に豊かな霊的祝福を与えて下さっています。永遠の命、【エペソ 2 章】
2. この世の中に没頭しない、妥協しない。【世の中の情報を入れすぎない、頼らない AI】
  - エサウのように肉的なことだけに没頭して、霊的なものを軽視しないように。
3. 神様から離れ、罪をもったままでは御国に入れないことを知しましょう。  
家族、友人、知人の救いの為に祈り、誘い、奉仕しましょう。【ヘブル 10:25】